第46回

運動会のみどころ

わかたけ第二保育園

たんぽぽ組

たんぽぽ組の子どもたちにとって、初めての運動会です。首がすわり、寝返りができるようになり、ハイハイやお座り、つかまり立ちや伝い歩きをして、歩けるようになります。個々の発達の姿は、月齢差があるので、様々です。当日は保育園でいつも楽しく遊んでいる、まてまて遊びや触れ合い遊びを、保護者の方と一緒に楽しみたいと思います。大勢の人がいる場所は初めてなので、人見知りや場所見知りをして泣いてしまうことがあるかもしれませんが、温かく見守ってくださいね。

ちゅうりっぷ組

春から繰り返し遊んできた巧技台やパンダ戸板は、ちゅうりっぷ組の子どもたちにとって、大好きな遊びのひとつになりました。さらに夏からは鉄棒や一本橋も遊ぶようになり、ぶら下がり、またがり、よじ登りなど、色々なことができるようになってきました。友達と関わり合う姿も増え、お互いに遊びに誘いながら、遊んでいます。そんな心も体も一回り大きく成長した姿を、今回の運動会でお見せします。緊張してしまって普段通りにはできないこともあるかもしれませんが、温かく見守ってください。

もも組

初めての大きな行事、運動会。もも組の子どもたちは、かっこいいカブトムシになりきって、甘い蜜を探しに出かけます。足指と手の力を使って一本橋を登り、巧技台の上からジャンプ！最後は職員と一緒に足抜き回りをします。もも組の子どもたちは、甘い蜜を手に入れることができるでしょうか。その他にもリズムやかけっこ、親子競技に参加します。
子どもたちの頑張って取り組む姿と、普段通りの姿を見ていただきたいので、子どもたちの競技中はあたたかく見守ってください。

すみれ組

すみれ組の子どもたちにとって、初めての運動会です。生活の中で大きくなった喜びをいろいろな場面で感じることができるようになった子どもたちは、ちょっと恥ずかしいけど、できるようになった誇らしい自分を精いっぱい表現してくれます。
かけっこ、リズム、障害物、合同競技とたくさんある中で、特に障害物に注目してください。戸板登り、鉄棒の足抜き回り、ケンケンパ、どれも足腰や体のバランス感覚が育ってきたからこそできる内容で、決して簡単ではありません。できた実感を自信に変えて、前向きに挑戦する姿をご覧ください。

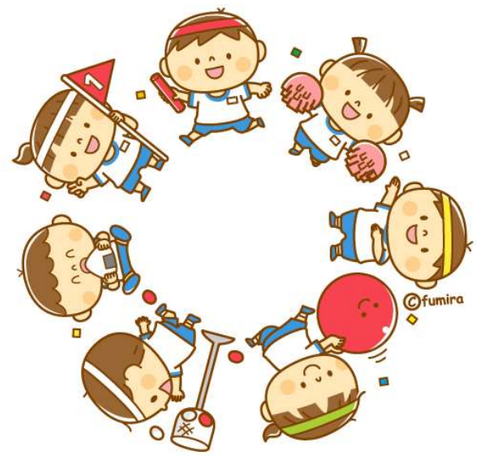
ゆり組

もうすぐ運動会ですね。ゆり組の戸板では、すみれ組の戸板よりぐーんと高くなります。初めは「高くて怖い」と言っていた子どもたち。高さに慣れるために、低い巧技台から挑戦。練習をしていくうちに段々高さにも慣れ、跳べるようになりました。足を交互に出して進む飛び石や鉄棒での前回りも、何度も練習をしたことで、自信に繋がり、勇気を出してできるようになりました。そして、今年のかけっこはトラック１周の長い距離を走ります。さくら組とのリレーにも挑戦します。勇気を出して頑張る姿を応援してください。

さくら組

いよいよ、保育園生活最後の運動会です。今年は戸板を駆け上がってジャンプ、逆上がり、棒登りに挑戦します。春頃はまだ高い所が怖かったけれど、少しずつ高さにも慣れ、練習を通して自信がついてきた子どもたち。「足の指に力を入れて踏ん張ると棒登りや戸板登りが上手に登れるようになるよ」と声を掛けると、日頃の雑巾当番やリズムを真剣に取り組む姿がありました。
かけっこ、そして、ゆり組と一緒にリレーにも挑戦します。トラック一周を全速力で駆け抜ける素敵な姿に、温かい声援を掛けていただけたらと思います。

応援してください



令和５年10月21日(土)